|  |
| --- |
| ２０１９年度事業報告書  社会福祉法人全国盲ろう者協会 |

**２０１９年度事業報告**

**Ⅰ．はじめに**

　２０１９年度は、前年度から新たに開始された盲ろう者向け同行援護事業の普及・定着に向けて、全国の盲ろう者友の会などと連携した取り組みを進めました。

また、当協会の重要な目標の一つである「日本版ヘレン・ケラー・ナショナルセンター(仮称)」の開設に向けて、前年度に引き続き「盲ろう者の総合リハビリテーション・システム試行事業」を実施し、全てのライフステージを通して総合的に盲ろう者の支援を行う同センター事業の先行的試行を行いました。

　さらに、２０１９年４月には、特定非営利活動法人全国盲ろう児教育・支援協会が設立され、当協会と緊密に連携して盲ろう教育の推進など盲ろう児支援活動に積極的に取組む体制が整ってきました。

　その他、従来から進めている各種の研修事業などについては、厳しい財政状況が続く中ではありましたが、全国の関係者、関係行政機関の皆様などのご理解、ご支援を得ておおむね計画通り順調に実施され、大きな成果を上げることができました。その中でも、愛知県名古屋市で開催した「第２８回全国盲ろう者大会」は、２６６人の盲ろう者の参加を得て、参加者総数８８７人の盛大な大会となりました。

　ただ、年度末近くになって、新型コロナウイルス感染症の流行が世界的に拡大し、その影響を受けて誠に残念ながら、当協会においても一部事業を中止するなどの対応を取らざるを得ませんでした。

　以下に各事業についての実施状況をご報告します。

**Ⅱ．２０１９年度実施事業の概要**

1．厚生労働省委託事業Ⅰ（盲ろう者向け通訳者養成研修等事業）

（1）盲ろう者関係生活相談等事業

ア．盲ろう者関係生活相談等事業

イ．広報誌発行事業

（2）盲ろう者向け通訳・介助員養成研修事業

盲ろう者向け通訳・介助員養成講習会指導者養成研修事業

（3）盲ろう者国際協力推進事業

(4）盲ろう者福祉啓発事業

(5）盲ろう者情報機器活用訓練等促進事業

ア．盲ろう者向け情報機器指導者養成研修事業

イ．コミュニケーション訓練個別訪問指導事業

ウ．全国盲ろう者団体ニューリーダー育成研修事業

(6）盲ろう者向け通訳・介助員制度の施行準備事業

2. 厚生労働省委託事業Ⅱ(盲ろう者の総合リハビリテーション・システム試行事業)

（1）盲ろう者の総合リハビリテーション・システム試行事業(新規)

3．公益財団法人ＪＫＡ補助事業

（1）第28回全国盲ろう者大会開催事業

4．公益財団法人鉄道弘済会補助事業

（1）第10回全国盲ろう者体験文コンクール実施事業

5. 日本財団助成事業

（1）アジアにおける盲ろう者団体ネットワークの構築事業

（2）盲ろう児者の医療アクセスと医療連携を支えるネットワーク構築事業

6．自主事業

（1）盲ろう者関係図書刊行事業

（2）盲ろう者向け情報機器等研究開発支援事業

**Ⅲ．事業別実施状況**

1．厚生労働省委託事業Ⅰ(盲ろう者向け通訳者養成研修等事業）

（1）盲ろう者関係生活相談等事業

ア．盲ろう者関係生活相談等事業

　盲ろう当事者相談員２名を中心として、全国各地の盲ろう当事者からの生活相談のほか、家族や通訳・介助員、福祉関係者等からのさまざまな相談や情報提供の要請に応えてきました。２０１９年度の１年間で、来所、電話、ファックス、メール等を通じて扱った相談件数は、１３４件となっています。

イ．広報誌発行事業

わが国唯一の盲ろう関係専門誌『コミュニカ』を２回発行し、盲ろう者、支援者及び関係機関へ送付しました。

　　第５９号　　墨字版　２，７００部　　点字版　４６０部

　　第６０号　　墨字版　２，７００部　　点字版　４６０部

※希望者にはデイジー版ＣＤ(デジタル録音図書の国際標準規格)も提供

（2）盲ろう者向け通訳・介助員養成研修事業

盲ろう者向け通訳・介助員養成講習会指導者養成研修事業

　２０１３年度から、盲ろう者向け通訳・介助員養成事業が都道府県（指定都市・中核市を含む。以下同じ。）の必須事業とされ、養成講習会の標準カリキュラムが示されたことなどから、２０１５年度から内容を見直して、標準カリキュラムに基づいて都道府県が行なう養成講習会の指導者養成に特化した研修事業（中央研修）を実施しています。２０１９年度は、１１月１日（金）～４日（月）までの４日間にわたって、「全国障害者総合福祉センター（戸山サンライズ）」（東京都新宿区戸山）において開催し、全国から受講者として、盲ろう者４人を含む２５人が参加し、多くの盲ろう者が講師陣に加わって、講義と実習を行いました。

（3）盲ろう者国際協力推進事業

盲ろう者国際協力推進事業は、世界盲ろう者連盟（ＷＦＤＢ）や盲ろう者インターナショナル（ＤＢＩ）などの国際組織及びその加盟各国と連携し、世界の盲ろう情報の収集と、わが国の情報を世界へ発信する目的を持っています。２０１９年度においては、８月１１日（日）から１６日（金）まで、オーストラリアのゴールドコーストで開催された「第１７回盲ろう者インターナショナル世界会議」に盲ろう者１名を派遣して全世界の参加者と交流し、情報収集及び情報発信を行いました。

（4）盲ろう者福祉啓発事業

２０１９年度の啓発事業は、各地に当協会の職員を派遣し、それぞれ地元の友の会との懇談や関係行政機関との協議などを行いました。

（5）盲ろう者情報機器活用訓練等促進事業

ア．盲ろう者向け情報機器指導者養成研修事業

　当協会では、２００６年度から、独立行政法人福祉医療機構の助成を受けて、開拓的事業として盲ろう者向けパソコン指導者養成研修事業を実施してきましたが、２０１５年度に、厚生労働省において本事業が新たに予算化され、厚生労働省の委託事業として継続的に本事業を実施していくこととなりました。２０１９年度は、２月１５日（土）～１７日（月）の３日間にわたって、ブレイルセンス（点字情報端末）を中心とした研修会を「難波御堂筋ホール」（大阪府大阪市）で開催しました。受講者は、１０人で、今後、それぞれの地域において、盲ろう者向け情報機器講習会の講師や個別訪問指導の指導者として活動することが期待されます。

イ．コミュニケーション訓練個別訪問指導事業

　当協会では、２００９年度から、独立行政法人福祉医療機構の助成を受けて盲ろう者に対する情報機器の個別訪問指導事業を実施してきましたが、２０１５年度からは、情報機器指導者養成研修事業と同様に、厚生労働省の委託事業として実施していくこととなりました。２０１９年度は、全国から募集した４人の盲ろう者に、点字情報端末や点字ディスプレイなどを貸与し、自宅への訪問指導を行ないました。

ウ．全国盲ろう者団体ニューリーダー育成研修事業

　当協会では、独立行政法人福祉医療機構の助成を受けて盲ろう者地域団体のニューリーダー育成研修会を実施してきましたが、２０１５年度からは、厚生労働省の委託事業として同事業を実施していくこととなりました。２０１９年度は、１１月２３日（土）～２４日（日）の２日間にわたって、「クロス・ウェーブ幕張」（千葉県千葉市）で開催し、全国から１３人の盲ろう者が受講しました。一日目は、全体会として「リーダーに必要な知識と自覚」というテーマでの講義と「友の会でリーダーは何をすべきか」というテーマでグループ討議を行いました。二日目は、前日に引き続いてグループ討議とその発表及び講評を行った後、全体会として「盲ろう者福祉の基礎知識」というテーマで講演を行いました。また、講師と受講者との間では、活発な意見交換が行われました。

(6) 盲ろう者向け通訳・介助員制度の施行準備事業

　２０１８年度から、同行援護事業の枠組みを活用して盲ろう者の通訳・介助を行う新たな制度が施行されたことを踏まえ、この制度の普及・定着に向けて、これまで、全国各地の盲ろう者友の会や行政関係者などに対して、この制度に関する説明会などを行ってきました。２０１９年度においては、盲ろう者友の会などの地域団体が設置・運営している盲ろう者向けの同行援護事業所（４か所）の協力を得て、盲ろう者友の会の代表者などを対象に、盲ろう者向けの同行援護事業所の立ち上げに必要な準備、運営に関する実務等についての見学説明会を実施しました。全国から１５団体の代表者が参加し、盲ろう者向けの同行援護事業所が事業を行っている現場において、事業所の立ち上げに向けた具体的な説明を受けたことで、今後の盲ろう者向け同行援護事業の推進に大きく寄与するものと期待しています。また、初めて盲ろう者の支援に携わる同行援護事業所や相談支援事業所の職員の方などを想定して、盲ろう者の同行援護に関する詳細なパンフレットを作成し、関係者に配布しました。

2．厚生労働省委託事業Ⅱ  
(盲ろう者の総合リハビリテーション・システム試行事業)

（1）盲ろう者の総合リハビリテーション・システム試行事業

　前年度に引き続き、盲ろう者の特性に対応したリハビリテーション・システムの構築（日本版ヘレン・ケラー・ナショナルセンターの開設）を目指した先行的試行事業を実施しました。児童部門においては、盲ろう児の保護者への専門相談や盲ろう児が利用している児童発達支援事業所への訪問指導の準備など、成人部門においては、短期宿泊型の生活訓練事業などを実施して、将来の事業展開に向けて貴重な知見、ノウハウを得るとともに、専門人材の育成という面でも一定の成果を上げることができました。

3．公益財団法人ＪＫＡ補助事業

（1）第28回全国盲ろう者大会開催事業

当協会の設立以来、平成２３年度を除いて、毎年度実施されてきた全国盲ろう者大会は、２０１９年度は、愛知県の「名古屋国際会議場」（愛知県名古屋市）において、８月２３日（金）～２５日（日）の３日間の日程で行われました。参加者は盲ろう者２６６人、盲ろう者以外の支援者など６２１人、計８８７人（ボランティアも含めると１，０２０人）でした。会期中には、第１分科会「全国の盲ろう者の生の声を聞く」、第２分科会「盲ろう者が家事をする時の困難と工夫」、第４分科会「日本版ヘレン・ケラー・ナショナルセンターに期待すること」、第５分科会「盲ろう者にとっての交通バリアフリー」、第７分科会「地域拠点（支援センター等）での取り組み」など、９の分科会において熱心な討議や活動が進められたほか、これらの分科会と並行して、最新のＩＴ機器や便利グッズの展示、盲ろう者が制作した作品の展示・販売、社会見学なども行われました。

また、例年のように多くの企業、団体などの皆様からのご支援をいただきました。

4．公益財団法人鉄道弘済会補助事業

（1）第10回全国盲ろう者体験文コンクール実施事業

公益財団法人鉄道弘済会の協賛による本事業は、２０１０年度より始められ、盲ろう者を対象とした文化事業として取り組まれています。２０１９年度第１０回コンクールは、合計１２編の応募があり、審査の結果、次のように入賞作品が決まりました。

　　（以下、敬称略）

　　　特賞「何が困りますか？」　　　　　　　　　藤江　美樹（京都府）

　　　入賞「挑戦」　　　　　　　　　　　　　　　桑村　昌和（大阪府）

　　　　　「突然の一人暮らし」　　　　　　　　　藤本　秀治（大分県）

　　　審査員賞「靴下わっかを編むようになって」　前田　朋子（広島県）

　特賞受賞者には賞金３万円と賞状、入賞・審査員賞者には賞金１万円と賞状がそれぞれ贈られました。

5．日本財団助成事業

（1）アジアにおける盲ろう者団体のネットワーク構築事業

　２０１９年度は、５か年計画で進めている本事業の２年次として、上記の国際協力事業と相乗りする形で、８月にオーストラリアで開催された「第１７回盲ろう者インターナショナル世界会議」に若手の盲ろう者１名を派遣して、国際協力事業の経験を積んでいただくとともに、会期中に韓国、シンガポール、タイ、インドの関係者らと会合を設け、「第２回アジア盲ろう者会議」の開催に向けた準備を進めました。また、１０月２５日（金）から１１月１日（金）まで、タイのチェンマイに盲ろう者２名を派遣し、タイ国内で唯一、盲ろう児・者の支援に関わっている北部盲学校を拠点として、タイの教育省、特別支援教育センターなどの全面的な協力のもとに、盲ろうについての啓発セミナーの開催、盲ろう児・者と家族の会の発足に向けた取り組みなどを進めました。  
　しかしながら、このような国際協力活動に向けた人材の育成を目的として、３月１４日（土）に、都内で開催を予定していた研修・報告会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、やむを得ず開催を中止しました。

（2）盲ろう児者の医療アクセスと医療連携を支える  
ネットワーク構築事業

　国立病院機構東京医療センターと連携して、２０１９年度からの３か年計画事業として開始した本事業は、東京医療センターに医療情報窓口を設置し、医療施設のデータベースを開設するなど盲ろう児者の医療ネットワークを構築するとともに、ホームページへの掲示やパンフレットの配布による医療情報窓口と医療ネットワークに関する情報の普及活動などを行いました。本年度は東京を中心に事業を展開しましたが、今後、段階的に地域を拡大していきます。

6．自主事業

（1）盲ろう者関係図書刊行事業

「日本版ヘレン・ケラー・ナショナルセンター」開設に向けた検討を具体化していくためには、日本から海外への情報発信も重要であることから、２０１６年度から盲ろう者に関する日本の専門図書（「盲ろう者として生きて」著者　福島智）の英訳作業を進め、昨年度は、この英訳本を刊行して世界各国に頒布することを目的として、クラウドファンディングによる資金作りを行いました。２０１９年度においては、秋頃を目途として、英訳本を刊行し、各国に頒布する予定でしたが、諸般の事情により刊行が遅れ、刊行・頒布は、２０２０年度内となる見込みです。

（2）盲ろう者向け情報機器等研究開発支援事業

　当協会では、これまで様々な機会を捉えては、盲ろう者が手軽に利用できる情報機器等の研究開発を支援してきました。また、公益財団法人テクノエイド協会が行う「シーズ・ニーズマッチング交流会」にも参加して、情報機器等の開発側とユーザー側のマッチングの促進に協力しました。

**２０１９年度諸統計資料**

（２０２０年３月末現在）

**１．盲ろう者登録数の推移**

（単位：人）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 2014  (H26) | 2015  (H27) | 2016  (H28) | 2017  (H29) | 2018  (H30) | 2019  (H31・R1) |
| 年度末登録数 | 934 | 941 | 960 | 978 | 985 | 989 |
| 増減数 | +46 | +7 | +19 | +18 | +7 | +4 |

**２．重度盲ろう者登録数の推移**

（単位：人）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 |
| 年度末登録数 | 731 | 732 | 743 | 745 | 772 | 779 |
| 増減数 | +58 | +1 | +11 | +2 | +27 | +7 |

　(注)　２０１４年度において、登録者の障害等級を精査した結果、重度者数が増加しました。

**３．盲ろう者関係生活相談件数の推移**

（単位：件）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度 | | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 |
| 方法 | 来所 | 10 | 6 | 18 | 11 | 9 | 8 |
| 電話 | 71 | 74 | 52 | 101 | 116 | 89 |
| 文書・FAX・ﾒｰﾙ等 | 46 | 52 | 64 | 64 | 65 | 37 |
| 内容 | 日常生活 | 13 | 24 | 35 | 22 | 23 | 17 |
| 社会保障制度 | 0 | 5 | 13 | 14 | 19 | 12 |
| 情報提供 | 62 | 58 | 63 | 85 | 75 | 50 |
| その他 | 52 | 45 | 23 | 55 | 73 | 55 |
| 合計 | | 127 | 132 | 134 | 176 | 190 | 134 |

**４．盲ろう者向け通訳・介助員登録数の推移**

（単位：人）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 |
| 年度末登録数 | 3107 | 3049 | 3078 | 3108 | 3144 | 3152 |
| 増減数 | +51 | +32 | +29 | +30 | +36 | +8 |

**５．全国盲ろう者大会参加者数の推移**

（単位：人）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度回数 | 2014  第23回 | 2015  第24回 | 2016  第25回 | 2017  第26回 | 2018  第27回 | 2019  第28回 |
| 開催場所 | 兵庫県  神戸市 | 静岡県  静岡市 | 福岡県  北九州市 | 岩手県  花巻市 | 千葉県  千葉市 | 愛知県  名古屋市 |
| 参加者数 | 924 | 930 | 789 | 711 | 893 | 887 |

**６．盲ろう者向け通訳・介助員養成講習会指導者養成研修会受講者数の推移**

（単位：人）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度回数 | 2014  第24回 | 2015  第25回 | 2016  第26回 | 2017  第27回 | 2018  第28回 | 2019  第29回 |
| 開催場所 | 東京都  新宿区 | 東京都  新宿区 | 東京都  新宿区 | 東京都  新宿区 | 東京都  新宿区 | 東京都  新宿区 |
| 受講者数 | 32 | 24 | 25 | 28 | 30 | 25 |

　（注）２０１１～２０１４年度までは「盲ろう者向け通訳・介助員養成のためのモデル研修会」として開催しました。

**７．全国盲ろう者団体ニューリーダー育成研修会受講者数の推移**

（単位：人）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度回数 | 2014  (中止) | 2015  第4回 | 2016  第5回 | 2017  第6回 | 2018  第7回 | 2019  第8回 |
| 開催場所 | ― | 東京都  江東区 | 千葉県  千葉市 | 千葉県  千葉市 | 千葉県  千葉市 | 千葉県  千葉市 |
| 受講者数 | ― | 16 | 14 | 11 | 12 | 13 |

　（注）２０１３年度までは独立行政法人福祉医療機構の助成事業として開催しました。

**８．盲ろう者向け情報機器指導者養成研修会受講者数の推移**

（単位：人）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度・回数 | 2014  (中止) | 2015  第8回 | 2016  第9回 | 2017  第10回 | 2018  第11回 | 2019  第12回 |
| 開催場所 | ― | 東京都  豊島区 | 東京都  豊島区 | 東京都  新宿区 | 東京都  新宿区 | 大阪府  大阪市 |
| 受講者数 | ― | 16 | 16 | 21 | 9 | 10 |

　（注）２０１３年度までは、独立行政法人福祉医療機構の助成事業として開催しました。

**９．盲ろう者地域団体（「盲ろう者友の会」等）未設置県**

|  |  |
| --- | --- |
| 青森県(２０１７年４月に「青森県盲ろう者支援会」設立)　　　　　　　　（計１県） |  |